

将来の県立高校に関するアンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 目的

この調査は、第4回総合教育会議で議論した「県立高校のあり方」に関して、広く現役高校生や現場教員等の意見を聞き、基本方針の作成にあたり参考とすることを目的とする。

(2) 対象者

県立高校(全日制・定時制)2年生(以下「高校2年生」という。)	6,073人
県立高校(全日制・定時制)校長、教頭、教諭、養護教諭及び実習助手(以下「教員等」という。)	1,837人

(3) 方法

第4回総合教育会議で議論した「県立高校の目指す姿」(案)を掲載したHPの周知と併せ、Webアンケートフォームにて実施。

(4) 時期

高校2年生 令和6年12月2日(月)～12月20日(金)

教員等 令和6年11月25日(月)～12月20日(金)

(5) 回答の状況

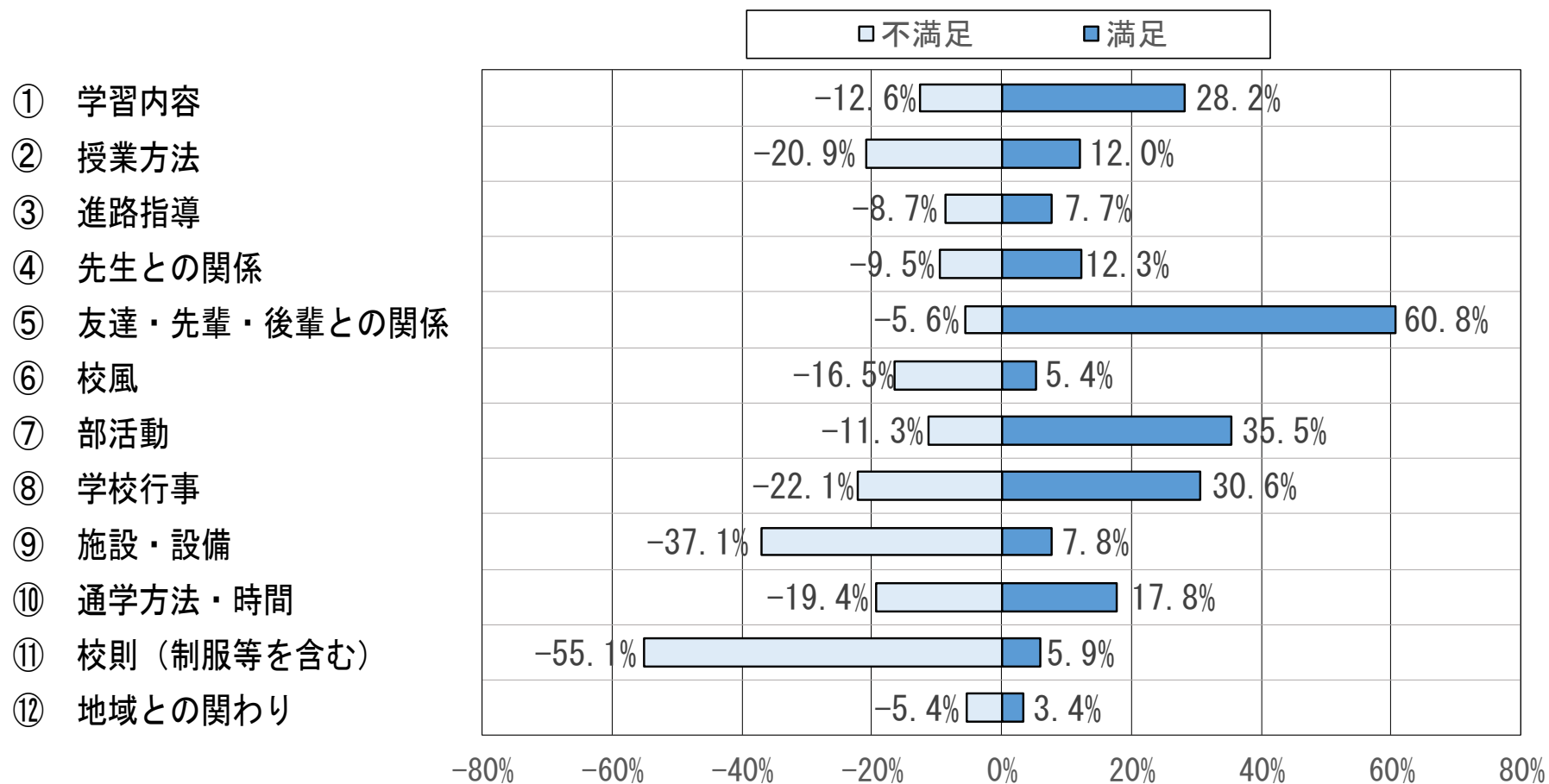
	対象者数	回答数	回答率
高校2年生	6,073	4,814	79.3%
教員等	1,837	720	39.2%
合計	7,910	5,534	70.0%



2. 調査結果

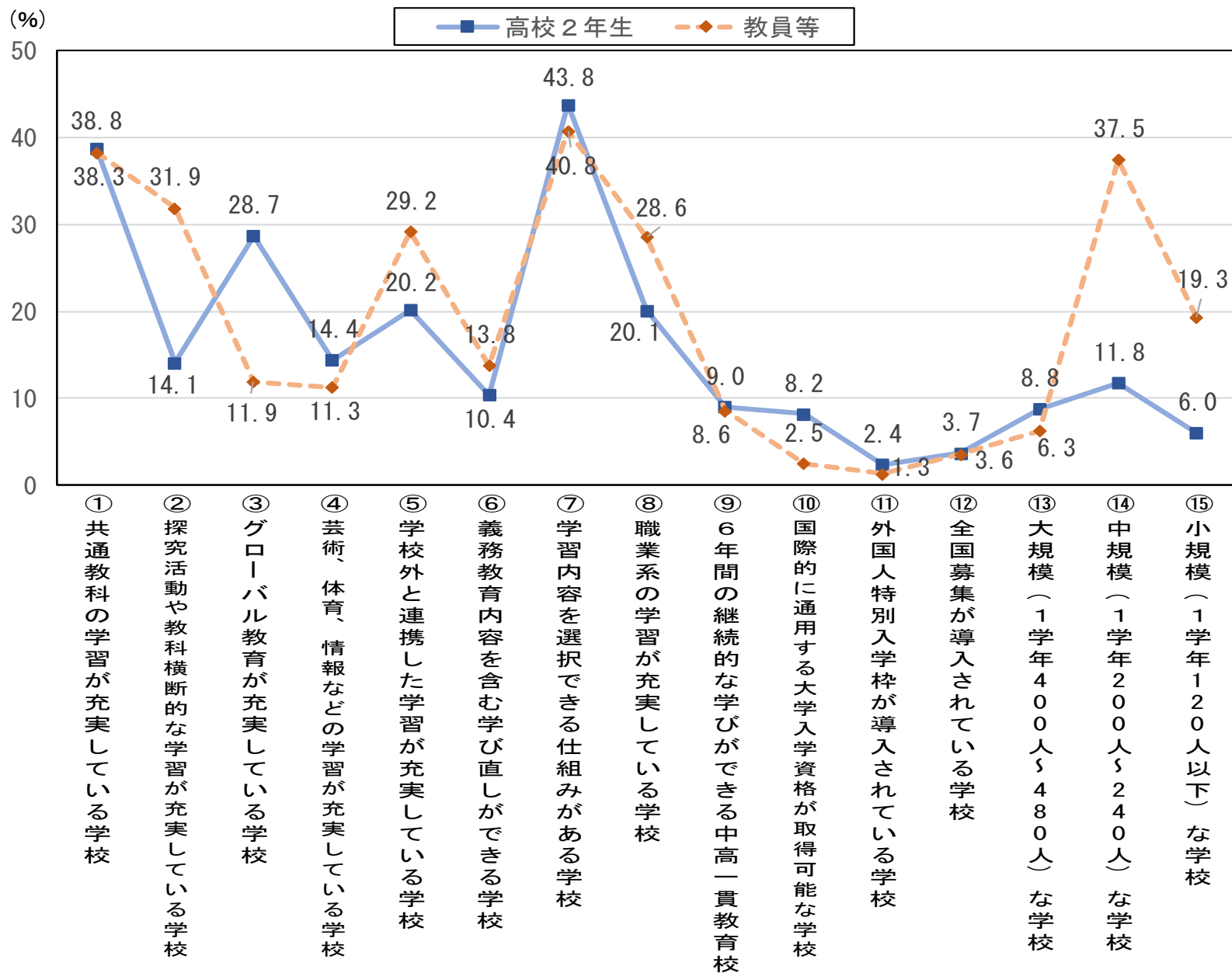
(1) 学校生活について【高校2年生】

- ・あなたの学校生活の中で、充実感や満足感を得られているものを3つまで選んでください。
- ・あなたの学校生活の中で、満足していないものを3つまで選んでください。



(2) 将来必要と思う県立高校【高校2年生・教員等】

将来の高校生のために、どのような県立高校が必要だと思いますか。次の中から必要だと思うものを3つまで選んでください。



(3) 県立高校の「目指す姿」などに対する主な意見（自由記載）【高校2年生】

内容	主 な 意 見
目指す姿	様々な背景を持つ人たちにも配慮されていていいと思った。
	学校外の地域や企業などと連携することはとても心強くて良いと思う。
	高校を減らすのはよいと思うが、一つの地区に工業系と普通科系を一つずつは設置すべきだと思う。
	様々なカリキュラムに対応し、多様な進路の幅を持たせてくれるところがいいと思った。
	立地条件がよく、通いやすい学校や、特色ある普通科高校が必要だと思う。
	現在必要とされているものの実現が令和20年度では遅いと思う。その時にはまた違うカが求められていると思う。
	富山地区、高岡地区以外の学生は、高校が減ることで通学時間が長くなったり、選択肢が狭まりそう。
	授業が充実し、生徒が自ら学ぼうと意識できる興味のそそられる授業ができる学校がよい。
	全体的にスポーツが他県に比べて弱いので、もっと部活動の設備を整えるべきだと思う。富山県はどのスポーツにおいても中学校時代に全国で成績を残した者は県外に出る人が多いように感じる。設備を少し整えるだけでも、実力者が踏みとどまって富山のスポーツ強化につながるのではないか。
	「富山ならではの教育を通じたウェルビーイングの向上」について、社会との繋がりを持つ事は必要だとは思いますが、学校のカリキュラム(生徒のニーズ)に合わせて企業を選ぶべきだと思う。
	小規模な高校でも、その地域にとって必要なものとなっているのではないか。
	国際バカロレア教育や中高一貫校設置などを進めてほしい。
富山は普通科が多く、〇〇コースと選択できるが特色があまり感じられないのでどれも同じような学校に思える。今後は国際色豊かだったり、芸術に特化したりと学校の色が分かっているような選択できる学校があったらいいと思う。	
その他	生徒が楽しく過ごすことができ、「充実した最高の学校生活だったな。この勢いでこれからの社会生活も頑張ろう」と思える環境が整備された学校がよい。
	県外からも生徒が通えるような設備の整ったオンリーワンの学校を造っていく必要があると思います。
	筆記だけではなくパソコンやタブレットの使用を増やす。
	高校再編よりも先生方の指導方法の見直しをしてほしい。
	暖房をつける、教室やトイレがきれいなど、環境をもっと重視してほしい。部室もすごく寒くて辛い。生徒の気持ちを考えてほしい。
	修学旅行は必要だと思う。
	留年制度のない学校、メイクを禁止しない学校、男子の長髪を禁止しない学校、時代の変化に柔軟に適應できる学校、個性が尊重される学校、将来にあった教育を受け入れる学校、ブラック校則がない学校、自由な学校。
頭が固い、古い考えの校則の学校が多いので、それをなくした方が良いと思う。	

(4) 県立高校の「目指す姿」などに対する主な意見（自由記載）【教員等】

内容	主 な 意 見
目指す姿	これまでの統廃合の延長線上ではなく、抜本的な改革をうたっている点、新築も含めて高校設置を考えている点が良い。
	数合わせ的な再編ではなく特色ある高校を設置しようとする考え方はよいと感じた。新しい高校を作ろうとするワクワク感がある。
	高校を地域の枠で設置するのではなく、自分の学びたい学科、特色のある高校を選ぶことを大切にしていこうとしている方針にはとても共感します。さまざまな利害関係や価値観が存在し県民が納得するまでには時間を要すると思いますが、とことん議論を重ねて現在の県立高校が抱える問題を少しでも改善していければと願っています。
	新たな学校を20校つくるという発想で良い。個々の学校が価値創造できる特徴ある学校づくりを目指すべき。
	目指す姿をはっきりと示したことは大変良いと思う。20校になるとのことだが、小出しにせず、最終形態とその過程までのプランも示していただきたい。
	あまりにも大規模に変え過ぎなのではないか、と率直に感じた。これまで各校が築いてきた様々な伝統が引き継がれなくなるのも残念だと感じる。
	20校に削減はやり過ぎな感じがする。大規模校は学年の統括が困難であったり、個に対応した指導が難しくなるので、現場の現状に合っていないと思う。
	中学生が進学する高校を選ぶ際には通学しやすさを最も重視することが明らかになっています。将来の高校配置を考える際、交通の利便性もセットで考えていただきたいです。
	変化が激しく予想困難な時代を生きていくために、地域や企業、大学などと連携し、教室で習得した知識をフルに活用することが必要だと思う。学ぶ意義や知識は使うものということを知る。
	時代のニーズに応じた学科・コース・系列等を設置することや、教育内容を明確にすることで、学校の特色化を図ることは必要だと思います。一方で、ある分野に特化することにより定員割れが生じることも心配されます。
	複数の学科構成は、正直厳しいのではないかと。学科の動きが異なり、学年や学校としての動きが統一しにくい。それが大規模校になればなるほど、より大変になるのではないかと思います。
	さまざまな選択ができることが良い。一度失敗しても、やり直しができるシステムが大事だと思う。
	基本目標
教員を目指す人々へのアピールともなるよう、教員のウェルビーイングに関する記述を増やしてもよいのではないかと感じた。	
理想は大変すばらしい。しかし、それを現場に丸投げされても困る。しっかりした方針と人員の確保が担保されないと、現場が疲弊する。	
「予測困難な時代において社会の変化やニーズを読み取り、社会参画できる」ようにするためには、考えさせるだけではなく考えたことを実践的に取り組もうとする行動力を育てる必要があると考える。	
基本目標	これからの時代のニーズに対応できる人材を育てることに加え、地元の産業を支える人材の両方をしっかりと育てることが必要だと思います。
	「生徒が学びたい、学んでよかったと思える 高校づくり」のためにも、まずは生徒に自信をもたせることが必須と考えます。受験科目のみでなく、幅広く生徒の生きる力となるような科目もしっかりと学べる事が大切では、と考えます。
	目標を達成するためには教員自身も学び続けなくては行けないが、現状はそれができるだけの十分な環境・体制とはいえないことが問題。

内容	主 な 意 見
基本目標	「富山ならではの」と独自性にこだわり、おかしな目標にならないようにしてほしい。
	各高校がオンリーワンである必要はないと思う。
	時代の流れや社会で求められていることからかけ離れないように子供たちが学びを自分事として考えて基本目標を実現できるようにしてほしい。
	将来の学びにつながるしっかりした基礎学力を身につけさせたいです。また、すでに（１）にありますが「レジリエンスを育む」ような教育が必要だと考えます。どんな状況におかれても、たくましく、柔軟に、元気に生きていけるような子どもを育てていければと思います。
	今後、地域の産業問題を分析し、デジタル技術を用いて解決策を提案できる能力や、環境問題や食料問題など、グローバルな課題に対する理解を深め、持続可能な社会の実現に貢献できる人材の育成に重点を置く必要があると思われま。
	方向性や興味関心をおおよそ考えておく必要はあるが、多様な文化に触れ合うことで考え方が変わることはあるし、変わっても良いと思う。
学 科 等	普通科系学科の区分にこれからの時代に必要な主な教育内容が盛り込まれており、また大規模、中規模、小規模校の利点が組み込まれており、生徒の選択肢が確保されている点が良いと感じた。
	職業系専門学科を設置し、専門分野で活躍できるスペシャリストを育成することは大変良い。しかし、将来の進路先に大きく影響する専攻分野を中学生の段階で選択させるのは難しいのではないかと思います。高校入学後に学科選択ができる「一括募集」は有効な手立てだと思います。
	地域や企業と連携することはどんどん進めるべきだと思う
	全国的に少子化、国際化が進む中で、富山県も変わらずであり、その中で学びたいことに特化した教育課程は必要だと考えます。
	富山県には、中高一貫の公立校が無いので、将来的に設置されれば良いと思われる。
	国際バカロレア認定校の導入ありきの姿勢はいかがなものか。県民、教員のコンセンサスが十分には醸成されていないし、準備不足。
規 模	大規模校の設置に興味があります。大規模校ならではの充実した教員の配置、多様な生徒がともにな学ぶ場など、メリットを生かせるような学校になればよいと感じる。
	大規模校が必要なのか。中規模・小規模校で、生徒一人ひとりに目が行き届くほうが良いのではないかと考えた。
	人は一人では成長しない。他者と関わることで、成長していく面は否定できない。ゆえに、ある程度の学校規模は必要と思う。
	小規模校は教職員が少ないため通常の業務を行うだけで精一杯で、「特色ある教育」を行う余裕がない。「特色ある教育」をする代わりに部活動をしない等、思い切った業務の見直しが必要。小規模なら「生徒一人ひとりが手厚い指導が受けられる」は幻想であり、現実には教職員の時間外無償労働に依存しなければ成り立たない。校舎の清掃や維持管理もままならないのが実情である。地域からの様々な要請にも応えきれない。
	小規模校3～4校となっているが、もっと増やした方がよい。生徒の通学時間を考慮するため。また、大規模校になじめない生徒もかなりの数が存在する。小規模校できめ細やかな指導を受けた方が効果的である。

将来の県立高校に関する高校生との意見交換会

1. 開催概要

(1) 日 時

令和6年12月17日(火)16:30~17:00

(2) 参加者

知事、教育長、高校生とやま県議会参加の高校生（県立高校、私立高校、特別支援学校より）45名

(3) 方 法

参加生徒に事前に質問項目を示し、各学校で話し合った意見を書面にまとめた上で意見交換会に参加



2. 主な意見（当日の発言及び書面で提出された回答より）

(1)「県立高校の目指す姿（案）」では、複数の学科があり多くの仲間と交流できる規模の大きな学校（1学年 400～480 人）の設置を検討しています。このような学校をどう思いますか。また、どんな学校になるとよいと思いますか。

主 な 意 見
自分の高校は普通科と専門学科がある複合的な高校だが、他学科の授業を受けられる点が最も魅力的であると思う。目指す進路に向けて専門性を高めることができる。多くの学科を有する高校には、このような制度を採り入れればよいと考える。
多くの仲間と交流できる点、や複数の学科があることで選択の幅を広げられる点、コミュニケーション能力を向上することができる点など、利点がある。
より多くの人と3年間接することができるので、コミュニケーション能力の向上だけでなく、小さな社会としてそれぞれ異なる考えや価値観を知ることによって人格形成につながり、生徒一人一人のウェルビーイングにつながるため良いと感じた。
規模の大きな学校があるといいと思う。規模が大きいほど多くの生徒と学校で共同生活をするため、多様な価値観をもった生徒と交流する機会が増え、将来世の中に出て様々な人と関わる上で生かされる経験ができる。
大規模校の良さはあると思うが、みんなが入学したいとは限らないので、小・中規模校も残してほしい。学科の選択肢と学校を選択肢は多い方が間違いがなくなると思う。
人数が多いことで、一人一人を見る機会は減りがちになるかと思う。小規模校と比べて遜色のない個人への目があればいいなと考える。
人数が多いと、授業についていけない生徒がいるから、そんな生徒が学びやすい環境を作ってほしい。
人が多く集まるため、人間関係でのトラブルが発生したり、人に流される人が多くなったりすると思う。
わざわざ規模の大きな学校にせずとも、中規模校同士の繋がりを作れば多くの人と交流できると思う。
工業科など、他学科の生徒が学んでいる内容も知りたいと思うので、多学科併設であると、別の専門科目を学ぶことで別に視点が得られるので、複数学科設置にも賛成。
多くの生徒が様々な地域から通学することになると思うので、不便な場所からも通学がしやすいように駅の近くなど交通手段の便利な場所にあるとよいと思う。
通学範囲が広がることを考慮すると、学校は駅から近い場所に設置されることが望ましい。
部活動の面で、大規模校ならではの特徴（例えばホッケーのようなマイナースポーツ）を出すことができればよいと思う。
部活動の人数が増え、部活動の質が良くなり、交流が活発になると思う。
規模の大きな学校の設置はいいと思う。人数が多い学校にすることで、たくさんの行事ができると思う。球技大会や修学旅行、体育大会など人数が多いと多学年との交流も充実し、より楽しい行事になると思う。
学校行事では、一人一人の活躍の場が限られると思うので、その点を配慮すれば、人数が多くても充実した学校行事が行える学校になると思う。
人数が多い分、行事などで係や役割分担のない生徒が現れる可能性があり、一人一人が活躍する場や機会が少なくなるなどデメリットもある。
採算面で小規模や中規模では設置が難しい食堂も、大規模校であれば設置が可能である。

(2) 中学・高校の6年間を継続的に学ぶことができる中高一貫教育校についてどう思いますか。どんな学校であればその学校で学びたいですか。

主 な 意 見
高校生が中学生に教えたり、中学生は高校生の姿を見ることで、中学生は近い将来を見通すことができ、高校生も手本となるべきという思いから、よい緊張感を持って学校生活を送れる。
6年間通わなければならないのであれば、小学校の時点で高校のことまで考えなければならない。
一般的な中学校や高校にはない、例えば海外留学や専門家を招いたワークショップなどのカリキュラムが用意されており、幅広くも深い知識、学びが得られる中高一貫教育校であれば、ぜひその学校で学びたい。
公立の中学校のカリキュラムでは進むのが遅すぎると感じる人もいれば、十分だと思える人もいるので、県立の中高一貫校があれば、選択の幅が広がって自分にとって良い教育を受けられる子ども達が増えると思う。
授業進度が早くなり、授業についてこれない生徒が増えるが、学力に自信がない生徒に対しては、授業の進度や内容に配慮し、個々の学習状況に応じた支援体制が必要だと考える。
高校受験がないため、本来あるべき緊張感が薄れ、勉強に向き合うきっかけがなくなるのではないか。
固定化された人間関係の中で過ごすよりも、中学、高校と別の人たちと関われる方が、成長できると思う。
大きな変化がなく、ゆとりある環境で6年間過ごせること、好きなこと、得意なことに集中できるという面ですごく魅力的。
6年間同じメンバーでやっていくので、仲良く暮らすことができる反面、どうしても人間関係のトラブルがあるので、先生方などでカウンセリングなどの安心した相談の機関を設けるといいと思う。
入学後に進路希望が変わったら、いろいろ大変そう。転入／転出の仕組みが必要。

(3) 今後も生徒数が減少していく中で、県立高校がどのように進化していけばよいと思いますか。

主 な 意 見
他校との交流や合同活動を増やすことで、学校外の人たちとの人間関係を築く場があるとよいと考える。
「目指す姿」にあるように「様々な学科構成×様々な学校規模＝幅広い選択肢の提供」していくことが、未来の高校生のためには重要だと考える。生徒一人一人に合った授業を受けることができれば、生徒たちが持つ能力を十分に引き出し、様々なことへ挑戦する手助けをすることができると考える。
特色のある学科があれば、県内生徒がふるさと富山への愛着を深め、将来的に地元へ根付く可能性が高まるのではないか。
商業科、工業科、農業科等の学科が一つに集まった学校があったらいいと思う。
選択授業を増やして、得意な教科や好きな授業をもっと学ぶ。生徒の希望や将来の職業像が変化していく時代だから、いろんな選択ができる自由度があるといい。
色々なタイプの高校を設置する(多様化)。部活動強化型やICT情報特化型の欧米風(制服やクラス概念がない)型など、学ぶ内容だけではなく、設備や学校規模、校風など学校の特徴がはっきりしている。
部活など生徒たちが意見を出し合って、行事などやりたいことを作り上げていける学校になればよい。
生徒会の権限を大きくするなど、生徒が主体的に学校運営に関われる、生徒の意見がより反映できる学校になるとよい。